

オマーン国マングローブ環境情報センター開発プロジェクト

(プロジェクト期間：2012年1月～24.0ヵ月、担当業務：マングローブ植林・環境教育・データ分析)

プロジェクトの背景

オマーン国では、乾燥地域における貴重な緑資源としてのマングローブ林や、マングローブ林がもたらす豊かな生態系の価値を認識し、その保全・再生と管理の実施に積極的に取り組んでいる。JICA は 2000 年から 2004 年のマングローブ植林に係る個別専門家派遣、2002 年から 2004 年のマスタープラン調査実施等の技術協力を行ってきた。同マスタープランでは、オマーン国内および周辺地域のマングローブ保全の拠点となる「マングローブ環境情報センター (QEIC)」の設立を優先的な取り組みとして提言し、同国による QEIC の建設が受け入れられた。本プロジェクトは、QEIC がオマーン国におけるマングローブ生態系の持続的な管理を促進するためのセンターとしての準備を整えるための体制構築や人材育成を目的として実施された。

プロジェクトの概要

本プロジェクトは、オマーン国環境気候問題省 (MECA) を受入機関として、同省自然保護局の海洋環境保護部門 (Marine Environment Conservation Department : MECD) の職員を主な C/P として実施された。団員構成は、総括・研修、マングローブ生態系モニタリング、マングローブ植林、環境教育、データ分析であり、QEIC の主な機能であるマングローブ植林、モニタリング、環境教育及び研修等の分野における体制構築や人材育成のための活動が実施された。それぞれの分野において、調査や実施結果等を取りまとめてガイドラインが作成された。

担当事項

- 研修：CUDBAS ワークショップによる研修ニーズ解析、マングローブ植林や環境教育分野における研修教材の作成、研修の実施及び研修ガイドラインの作成
- マングローブ植林：植林適地選定に関する調査、植林方法改善のための調査、植林ガイドラインの作成
- 環境教育：環境教育の現状調査、環境教育プログラム改善のための教材作成及び改善プログラムの試行、プログラム評価方法の提案。環境教育実施計画 (ガイドライン) の作成
- 展示計画：QEIC における各種展示のアイデアや、効果的な見学のための学習帳作成等の学ぶしくみの構築等を含む展示計画の作成
- データ分析：マングローブ林サイトやマングローブ生態系の動物に関するデータベースの作成
- その他：プロジェクト・ブローチャーやニュースレター、web サイト案作成等の広報活動



CUDBAS ワークショップによる研修ニーズの把握



マングローブ苗木のモニタリング手法の研修



子どもたちによるマングローブ植林活動



マングローブ生態系をネイチャーゲームで学ぶ